❷ 輸送の安全の確保に関する基本的な考え方

2−1 基本的な方針

福岡市地下鉄は、輸送の安全の確保を第一の使命とし、お客様に安全・安心で快適便利な輸送サービスを提供することを目指しています。

このため、輸送の安全を確保するための基本的な方針を下記のとおり定め、全ての職員及び関係者が常に心がけ、行動しています。

安全方針

1. 安全を全てに優先する。
2. 安全に関する規程を遵守する。
3. 誠実、厳正に職務を遂行する。

安全行動規範

1：一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
2：輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
3：常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
4：車両、線路、保安設備等を常に安全な状態に保持するよう努めます。
5：職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
6：事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
7：情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
8：常に問題意識を持ち、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

2−2 安全重点施策とその進捗状況

輸送の安全を確保するための基本的な方針に基づき、安全に関する様々な取組みを、毎年度「安全重点施策」として策定し、進捗状況を管理しています。令和5年度は次のとおり計画し実施しました。

令和5年度 安全重点施策

安全目標	目標達成のための取組み	内容	進捗状況
安全運行の実現	運転事故・輸送障害・インシデントのゼロ	運転事故、輸送障害及びインシデントのゼロ　※1	運転事故、輸送障害及びインシデントのゼロを達成しました。
	安全性向上のための人材の育成・管理	乗務員・駅務員等の教育訓練及び安全に関する評価を定期的に実施	集合教育訓練や新任者教育訓練等を年間計画に従い定期的に実施しました。
		乗務員・駅務員等の資質管理の徹底	運転管理者が、各所属において管理を行っている乗務員・駅務員等の資質管理状況を定期的に点検しました。
		乗務員のアルコールに関する自己管理の徹底及び乗務前のアルコール測定の実施	乗務前のアルコール測定を厳正に実施しました。　※2
		職員の技術の維持・継承	各種研修等を実施しました。
	車両、構造物、駅施設及び設備の計画的改良	安全性　信頼性の向上を図るため、運転保安設備の要であるATC設備の改良を行う。（空港・箱崎線）	令和3年度から実施していた貝塚駅ATC設備の改良は、令和5年度に完了しました。
		安全性　信頼性の向上を図るため、車両、構造物、駅施設、軌道設備及び電気設備の計画的改良を行う。	計画どおり、各施設の更新、改良等を実施しました。

※1 運転事故、輸送障害、インシデントについてはP13をご参照ください。
※2 呼気中のアルコールが検知された乗務員は乗務させないこととしています。

令和5年度 安全重点施策

安全目標	目標達成のための取組み	内容	進捗状況
安全最優先の組織風土の確立	安全マネジメントの推進	関係法令遵守と安全最優先意識の徹底	研修、訓示、現場巡視等により、組織内に関係法令の遵守及び安全最優先意識の徹底を図りました。
		事業者の事故等に関する情報の活用	他事業者で発生した事案について、当局でのリスクの有無の確認を行いました。
		内部監査の充実	内部監査員研修の実施、内部監査結果の各所属への共有を実施しました。 経営管理部門(交通事業管理者等)へのインタビュー形式の内部監査を実施し、監査の充実を図りました。
万一の事故・災害等に備えて	大規模自然災害等の対応	大規模自然災害・テロ発生時及び発生に備えた危機管理体制の確保	福岡県警察、市民局、消防局と合同での傷害事案対応訓練を実施しました。
		電力供給不足時における危機管理体制の確保	大規模停電時の対応について、見直しを行いました。
	外部への情報提供	大規模事故発生時の情報収集発信体制の整備	報道対応等の手引きに基づいた報道対応を実施するとともに、発生した事案について振り返りを実施しました。
	関係機関と連携した各種訓練の実施など	事故復旧体制の教育訓練の実施	事故復旧時の対応について、全職員に教育訓練を実施しました。
		事故復旧訓練の実施	震度6弱の地震発生を想定したシミュレーション訓練を実施しました。
		災害対応訓練の実施	浸水防止訓練及び避難誘導訓練を実施しました。

令和5年度 安全重点施策

安全目標	目標達成のための取組み	内容	進捗状況
安心してご利用いただくために	駅係員全員の普通救命講習受講	駅係員が救急・救命の応急処置を行う	駅係員全員が、「普通救命講習」を受講し、心肺蘇生法や応急手当の技術を習得しました。
	各駅のAEDの適切な管理		毎日の状態確認及び計画的な消耗品の交換等を実施しました。
	新型インフルエンザ等対策	新型インフルエンザ等に関する情報収集及び状況に応じた対応	新型インフルエンザ等対策として、引き続き、手指消毒等基本的感染防止策を徹底することにより職場における感染拡大防止に努めました。
	お客様への適切な情報提供	案内放送・案内表示等の拡充	タブレット端末及びX（旧Twitter）等の活用により、多言語案内の充実を図りました。

2−3 令和6年度の安全重点施策

令和6年度は次のような取組みを実施します。

安全目標	目標達成のための取組み	内容
安全運行の実現	鉄道運転事故 輸送障害・ インシデントのゼロ	鉄道運転事故、輸送障害及びインシデントのゼロ （福岡市地下鉄に責任のあるものに限る）
	安全性向上のための人材の育成・管理	①乗務員、駅務員等の教育訓練及び安全に関する評価を定期的に実施 ②乗務員及び駅務員等の資質管理の徹底 ③乗務員のアルコールに関する自己管理の徹底及び乗務前のアルコール測定の実施 （測定器の設定値（下限値）：0.05mg/l） ④職員の技術力の継承・向上に資する研修や支援の実施
	車両、構造物、駅施設及び設備の計画的改良	安全性・信頼性の向上を図るため、車両、構造物、駅施設、軌道設備及び電気設備の計画的改良を実施
安全最優先の組織風土の確立	安全マネジメントの推進	①関係法令遵守と安全最優先意識の徹底 ②事業者の事故等に関する情報の活用 ③内部監査の充実
万一の事故・災害等に備えて	大規模自然災害等の対応	①大規模自然災害及びテロに備えた危機管理体制の確保 ②電力供給不足時における危機管理体制の確保
	外部への情報提供	大規模事故発生時等の外部への情報提供体制の整備
	関係機関と連携した各種訓練の実施など	①事故復旧体制の教育訓練の実施 ②事故復旧訓練の実施 ③災害対応訓練の実施
安心してご利用いただくために	駅係員全員の普通救命講習受講	①駅係員の救急 救命の応急処置技能の向上 ②AEDの日常点検と維持管理
	各駅のAEDの適切な管理	
	新型インフルエンザ等対策	新型インフルエンザ等に関する情報収集及び状況に応じた対応
	お客様への適切な情報提供	案内放送・案内表示等の拡充